

新年を迎えて

理事長 下村 一彦



新年あけましておめでとうございます。

新春を迎へ、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げますとともに、日頃から当事業団にお寄せいただいておりますご支援、ご協力に対し心から感謝申し上げます。

当事業団では「鹿児島県社会福祉事業団経営計画2025」を策定し、利用者や地域の皆様に信頼していただける法人であり続けられるよう、また、事業団の持続的発展をめざして法人経営に取り組んでいます。本年もこの計画に沿って、各般の施策・事業を具体的に推進していくこととしていますが、計画の中で私が特に大切だと考えている2つのことについて取り上げたいと思います。

1つ目は、職員満足度の向上であります。事業団で最も重要な財産は職員であり、職員が事業団と施設・事業所に愛着を感じられること、業務に対するモチベーションを失わずに働き続けられる職場であることは必要不可欠です。そのため、社会経済情勢の変化に対応してできる限り就労環境の改善や職務上の負担軽減を図るとともに、国の施策動向を踏まえながら福祉専門職としてのキャリアアップを図れる環境も整えたいと考えています。

2つ目は、利用者の皆さんの満足度の向上です。私たちは基本理念にあるように、利用者のおもいを大切にし、利用者に笑顔を届けられる支援やサービスを提供する必要があります。利用者の意思確認の重要性は国の児童福祉や障害福祉施策においても示されているところですが、利用者の意思を確認し、その意思を尊重しながら支援していくことは、言うほどたやすいことではありません。福祉の専門職として、常日頃の業務をとおして、また、分野別の研修の受講やコンサルテーション等によって、業務に必要な専門的なスキルを獲得していくかなければなりません。職員一人ひとりのスキルアップが施設全体の専門性の維持・向上につながり、利用者の皆さんの満足度の向上を実現できるからです。

この他、国の施策の動向に留意していく必要があると考えています。まず、社会的養護の家庭養育優先原則についてです。理念としては理解できますが、里親委託等の数値目標を設定し、性急に施策を進めすぎると、ひずみが出てくることが懸念されます。こともの最善の利益を第一に考え、そのこどもに最も適した養育環境を提供することが大事であって、社会的養護の担い手として里親等の他に児童養護施設も当然に必要な存在だと思います。施設不要論的な論調がみられますか、これまで、児童養護施設は社会的養護分野で重要な役割を果たしてきており、専門的なスキルを蓄積しています。複雑で困難な課題を抱えたこどもたちを受け入れられる存在であるとともに、地域小規模児童養護施設はもちろん、里親やファミリーホームのバックアップ施設として機能できる能力を有しております。今後も大事な役割を担える存在として、もう少し尊重していただきたいと切に思うところです。また、障害福祉分野でも施設不要論的な論調がみられますか、障害者支援施設は障害者が自らの意思で選択できる生活の場の1つであるとともに、障害者の地域での生活をバックアップできる存在でもあると思います。地域生活支援拠点等は、ご家族等にとって重大な課題である「親なき後」等に備えるための制度と位置づけられていますが、現状では不十分と言わざるをえず、ご家族等の不安を解消できていません。報酬体系さえ十分であれば、障害者支援施設はご家族等に安心してもらえる地域生活支援拠点等の一部又は全部の機能を担える存在となり得ると思います。ただし、入所施設については現状に満足することなく、これまで指摘されてきた閉鎖性を克服することにより、利用者と職員が地域の人たちとつながり、地域での役割を感じられるような工夫が必要なことを忘れてはなりません。

これからも、当事業団としては、国の施策動向にも留意しつつ、その時々の課題に挑戦しながら、全ての職員が誇りを持って施設・事業所の運営に取り組み、地域社会で更に役立つ法人となれるよう努めてまいりたいと考えていますので、関係の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

理事会

- 令和7年6月9日
- 議案第1号 令和6年度事業報告について
- 議案第2号 令和6年度計算関係書類及び財産目録について
- 議案第3号 理事及び監事候補者の選定について
- 議案第4号 評議員選任・解任委員の選任について
- 議案第5号 評議員会の招集について
- 令和7年6月27日
- 議案第1号 理事長の選定について
- 議案第2号 常務理事の選定について
- 議案第3号 評議員候補者の推薦について
- 令和7年8月7日
- 議案第1号 ゆすの里給湯設備改修工事請負契約の締結について

- 令和7年11月20日
- 議案第1号 令和7年度第一次収入支出補正予算について
- 議案第2号 児童自立生活援助事業の実施について
- 議案第3号 鹿児島県社会福祉事業団 定款の変更について
- 議案第4号 鹿児島県社会福祉事業団 定款施行細則の一部改正について
- 議案第5号 評議員会の決議方法等について

評議員会

- 令和7年6月27日
- 議案第1号 令和6年度計算書類及び財産目録について
- 議案第2号 理事及び監事の選任について
- 令和7年12月9日
- 議案第1号 鹿児島県社会福祉事業団 定款の変更について

令和7年度事業団職員研修

階層別研修

新任幹部職員研修
【令和7年7月9・10日】
■1日目
株九州経済研究所
「管理職実力養成コース」受講
■2日目
1. 理事長訓話
2. メンタルヘルスについて
講師:鹿児島産業保健総合支援センター
勝田 正志 氏
3. 人事評価制度について
4. 労務管理の基礎等について
講師:石塚社会保険労務士事務所
石塚 昭子 氏
5. 受講者による2分間スピーチ



新任主査研修

【令和7年9月11・12日】
株九州経済研究所「管理職基礎コース」受講



チームリーダー研修

【令和7年7月18日、12月5日】
(内容)
1. 理事長訓話
2. 財務・会計の要点について
3. ジョブ・カード活用セミナー
講師:鹿児島キャリア形成・リスクリング支援センター
大坪 潤次 氏
4. チームレジエンスアップセミナー
講師:株九州経済研究所 中木屋 民 氏
①ストレスに勝つ組織のためのレジエンス ②しなやかで折れない心づくり
③「安心」「安全」な組織づくり ④チームレジエンスを高めるためのフィードバック
5. 受講者による1分間スピーチ



新任主任研修

【令和7年8月15日】
(内容)
1. 理事長訓話
2. メンタルヘルスについて
3. 財務・会計の基本について
4. リーダーシップ養成
講師:株九州経済研究所 内野 公貴 氏
①リーダーシップとは何か? ②リーダーシップに必要な要素
③リーダーシップを発揮するためにどう行動するか ④本日のまとめ
5. 受講者による2分間スピーチ



新任職員(2年目)フォローアップ研修

【令和7年9月19日】
(内容)
1. 理事長訓話
2. 先輩職員と語ろう
3. 社会人基礎力
講師:株九州経済研究所 中木屋 民 氏
①人生100年時代の「社会人基礎力」とは ②まずは踏み出そう
③疑問を持ち、考え方 ④仕事はチーム戦



新任職員(1年目)研修

【令和7年4月3日・4日・7日】
株九州経済研究所 「基礎コース」受講(新卒職員)
【令和7年4月15日】
株九州経済研究所 「生きる!経験者採用社員」受講(中途採用職員)
【令和7年6月19日】
事業団 施設見学
(仁風学園・女性自立支援施設・同胞保育園・鹿児島みなみ保育園・母子生活支援施設・ゆすの里・リハステーションゆす・かごしま障害者就業・生活支援センター)

新任職員(1年目)フォローアップ研修

【令和8年2月20日】
(内容)
1. 理事長訓話
2. フォローアップセミナー
講師:フリーランサー 中村 朋美 氏
3. 人材育成計画について
4. 1年間の振り返り
講師:株九州経済研究所 江藤 緑 氏
5. 受講者による1分間スピーチ



契約職員サブリーダー研修

【令和7年9月9日、10月17日、11月21日、12月9日】
(内容)
1. 理事長訓話
2. ジョブカード活用セミナー
講師:鹿児島キャリア形成・リスクリング支援センター
大坪 潤次 氏
3. アンガーマネジメント&叱り方
講師:株九州経済研究所 野中 千尋 氏
①現状を振り返る
②アンガーマネジメントとは
③私たちを怒らせていてるもの
④自分をコントロール
⑤叱り方
⑥事例検討



契約職員(1・2年目)研修

【令和7年10月24日】
(内容)
1. 理事長訓話
2. 事業団の概要等について
3. 「報・連・相」徹底術
講師:株九州経済研究所 江藤 緑 氏
①「報・連・相」はなぜ必要
②意外と知らない、「報・連・相」それぞれの意味
③これだけで「報・連・相」上手!
④「報・連・相」を充分に活用して、仕事を楽しく!
⑤今日の振り返り

内定式・交流会

【令和7年11月8日】
令和8年度採用職員内定式及び施設見学(若葉学園・川内自興園)

特集 事業団の新たな取り組みを紹介します!

【児童養護施設 若葉学園】(名称:つむぎの家くすのき)

地域小規模児童養護施設を開設しました!

令和7年10月1日から始良市西餅田の一軒家にて、本園から6名の男子児童(小学生)が引っ越しを行い、生活がスタートしました。施設の名前については、人と人の縁や、心と心の思いを紡ぎ、子ども達が各々の物語を紡いで豊かな人生を送って欲しいとの願いを込めて「つむぎの家」としました。また「くすのき」については始良市の市木で、巨木に成長する生命力の象徴と言われており、子ども達が健康で大きく成長して欲しいと願いを込めました。新しい生活が始まってから2か月ほどが経ち、現在は地域の子ども達との交流が増えており、待ち合わせをして学校に行ったり、学校から帰ってきた後に一緒に遊びに行ったりしています。



施設外観



居室



階段の踊り場に子ども達が飾ったフィギュア

くすのきの一日の様子(学校がある日)



くすのきへ引っ越しをした児童へ インタビューをしてみました!

インタビュー
記事

- Q. 新しいお家は楽しいですか?
学園(本体施設)より楽しい。
- Q. どういった所が楽しいですか?
宿題の後、公園に行ける。他の地域の友達が増えた。
- Q. これからどういったことを頑張りたいですか?
勉強、野球、貯金。
- Q. くすのきで新しく何をしてみたいですか?
みんなで動物園や水族館に行きたい。ジンベエザメを見たい。

地域小規模児童養護施設とは?

児童養護施設における本体施設の分園として、地域社会の民間住宅等を活用して近隣住民との適切な関係を保持つつ、家庭的な環境の中で養護を実施することにより、子どもの社会的自立の促進に寄与することを目的とする施設。

(こども家庭庁 地域小規模児童養護施設設置運営要綱)

【障害者支援施設 川内自興園】

就労選択支援を開始しました!

就労選択支援とは

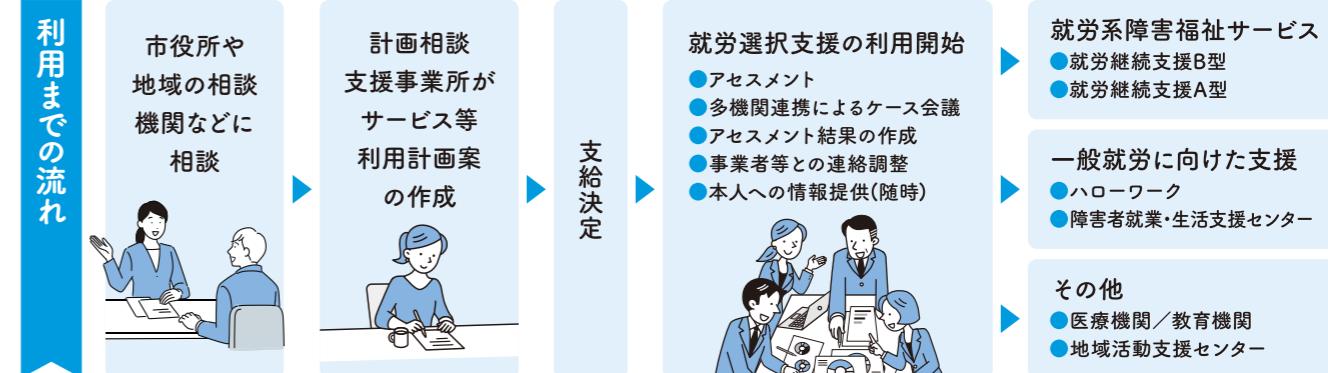
就労選択支援とは、利用者の方々が適切な就労系サービスを利用できるように令和7年10月1日に始まった新しい就労系サービスです。就労アセスメントの手法を用いて、障害のある方が自身にあった働き方や必要な支援を選択できるようにサポートすることが目的です。

就労選択支援の主な対象者は、新たに就労系障害福祉サービスの利用を希望される方などで、新規に就労継続支援B型の利用を希望する方は原則利用義務化されます。一般の方だけでなく、支援学校など在学中に就労選択支援を複数回利用することが可能であり、アセスメント結果を活用して卒業後の進路選択を行うことも可能になります。

どのくらいの期間行うのか

支給決定の有効期間は原則1ヶ月です。1ヶ月以上の時間をかけた継続的な作業体験を行うと認められた際には更に1ヶ月の延長が出ることもあります。

利用までの流れ



(参考:厚生労働省 就労選択支援について)

どんなことをするのか

■作業現場を活用した能力の評価

本人が希望する実際の職場に近い環境(本事業所、または本人が希望するA型やB型、企業など)で、多様な作業を体験し、作業遂行能力、対人スキル、環境への適応力などの評価を行います。

評価は本人のできないことを明確にするのではなく、本人の強み(ストレングス)を本人や関係事業所に理解してもらい、必要な配慮、職場に求める具体的なサポート内容を明確にすることが目的です。

■多機関連携会議

支援期間の終盤には、利用者本人、家族、相談支援専門員、ハローワーク担当者、障害者就業・生活支援センター、特別支援学校など、複数の関係者が集まるケース会議を開きます。

このケース会議で作業体験の結果などの情報を共有し、集まった専門的な意見をもとに、最も適した就労系サービスや一般就労への進路を具体的に検討し、その結果をもとに利用者の方々が自分にあった進路を決定されます。

最後に

就労選択支援は「働きたいけれど、どのサービスが自分に合うのか分からず」又は「自身の能力でどこまでできるかわからない」という利用者の方々のための新制度ですが、これを行うには一つの事業所だけでは不可能です。市役所などの行政機関、特別支援学校、相談支援事業所、就労系サービスを持つ他法人の事業所、障害者就業・生活支援センター、ハローワーク、地域の企業など、地域全体の協力が必要な事業になります。まだまだ動き出したばかりの新事業で、暗中模索をしながらではありますが、多くの方々と手を取り合って地域の就労を望む利用者の方々の新しい手助けができると思います。

ねっとわーく

児童養護施設
仁風学園

命の理由について

令和元年10月15日に病で亡くなった当園生のMさんと、令和4年4月に80歳で亡くなった卒園生の死を悼み、命の儚さや大切さを考える機会として、令和7年10月13日に「命の理由について」と題した慰靈祭を行いました。

学園の隣にある西本願寺鹿児島別院本名出張所の教導職を招いて、子ども達に分かりやすい言葉で「命の大切さ」「自分の大切さ」についての話を聞いていただき、子ども達は真剣に耳を傾けている様子でした。「命は誰かに与えられたものではないこと」「日々の小さな出会いや出来事を大切にすること」「自分自身と他人の命を等しく大切にすること」を、子ども達が改めて深く心で受け止めることができた時間になったと思います。

●児童指導員：古屋敷 光

慰靈祭の翌日、当園生のAさんと担当指導員がMさんの納骨堂を訪れました。

AさんとMさんは、幼い頃から一緒に育ち、姉妹のように仲良くしていました。Mさんが亡くなつてからは、毎年納骨堂を訪れています。今年もMさんが好きだった食べ物をお供えして、お位牌に手を合わせました。

もし、生きていれば二十歳を迎えるMさん、そのことを思い、命の儚さと尊さを深く感じたようでした。

メッセージノートには、訪れた卒園生からのメッセージが書かれており、Aさんも近況を書きました。

Mさんの存在は、今もAさんをはじめ、多くの人の心の中に生き続けており、命の大切さを伝えてくれています。



●児童指導員：十島 雅子

施設の窓から

保育所
同胞保育園

「できた!」の喜びを胸に

例年よりもまだ暑さが残る10月25日、同胞保育園の生活発表会が行われました。2年前から、年長児による太鼓演奏で華やかに開幕しています。私の担当する3歳児クラスは、お遊戯とオペレッタを披露し、オペレッタは絵本の「くれよんのくろくん」を取り組みました。

活動中は繰り返し絵本を読んだり、実際にクレヨンで絵を描いてから黒く塗りつぶし、竹串で削って色を出したりと、絵本の世界を存分に



叩きたいな」と憧れる姿も見られました。

3歳児クラスに進級すると、初めて体験することがたくさんあります。緊張しながらも挑戦し、「できた!」と共に喜び合う気持ちを大切に、これからも一人ひとりの成長を見守っていきたいと思います。



●保育士：富松 萌絵

児童養護施設
若葉学園

宮崎の動物園までの大冒険

子ども達が楽しみにしているお出かけ行事について、今年は幼児棟職員全員で意見を出し合い、外出先を決めました。その中の1つが宮崎市フェニックス自然動物園でした。県外へのお出かけであったため、入念に計画を立てた上で幼児4名、職員3名で行つきました。

子ども達は行きの車内から大興奮で、宮



●児童指導員：平田 愛

崎市まで2時間ほどの長い道のりでしたが、窓から見える全ての物に興味津々で眠らずにずっと喋っている子どももいました。動物園では、約50羽のフラミンゴによるダイナミックなショーの観覧や食欲旺盛な鯉への餌やり等、特別な体験をすることができました。また、キリンを間近で見ることができ、見上げても全体像を把握することができないほど高く圧倒されました。園内には遊園地もあり、メリーゴーランドやおとぎ列車等の穏やかな乗り物だけでなく、スピードの速いジェットコースターにも挑戦し、大満喫しました。帰る前にはお土産屋に寄り、みんなでお揃いの動物のキーホルダーを買って、今は幼稚園バッグに付けて登園しています。

これからも子ども達の喜ぶ顔を思い浮かべながら、楽しい行事づくりに努めています。

保育所
鹿児島みなみ保育園

音楽遊び

私の担当する1歳児クラスの子ども達は、毎日手遊び歌を歌ったり、走ったり踊ったりしています。

月に1回保育の中で行っているリトミック遊びでは、ピアノの音に合わせて歩いたり走ったり、途中で止まったりしながらたくさん体を動かします。「これ誰だ?」と保育者が動物のイラストのクイズを出すと、子ども達はうさぎやぞう等になりきって楽しんでいます。

毎日の活動で歌に触れ、リトミック遊びの回



ピアノの合図に合わせて行う練習を取り入れました。「きをつけピッ」「立ちましょう」の合図や音が聴こえると「ピッ」と元気よく声を出して上手にできるようになりました。当日は初めての生活発表会の子ども達も多い中、普段のリトミック遊びや手遊びのように、とても上手に楽しく披露しました。

これからも子ども達の成長に寄り添い、子ども達が好きなことを見つけるように様々な遊びを取り入れていきたいと思います。



●保育士：高崎 真由香

ねっとわーく

施設の窓から

母子生活
支援施設

心とからだのワークショップ

社会の多様化や情報機器の発達により、健全な性意識の育成は重要な課題となっています。家庭での取り組みも大切ですが、内容の特質上、保護者が子どもに伝えることの難しさもあります。

当施設では、子ども達が自他を尊重し、命を大切にする心を育むことを目的に、年間指導計画に基づいた性教育を行っています。こ



れまでも、心と身体の変化、プライバートゾーンの理解、悩みが生じた際の相談の仕方など、発達段階に応じた支援を続けてきました。今回は鹿児島純心女子短期大学の大竹山准教授を講師に迎え、「心とからだのワークショップ」を開催しました。児童11名と母親3名が参加し、クイズを交えた講話に集中して取り組む姿が見られました。会の最後には児童代表2名が講師に感謝の言葉を伝える場面もあり、特別な学びの時間となりました。

参加児童からは「妹や弟にも教えたい」との声があり、家庭への広がりも期待されます。母親からは「家庭では話しづらい内容も分かりやすかった」「子どもが命について畏敬の念を持つことができたと感じた」との感想が寄せられました。

今後も、子ども達が安心して成長できる環



境づくりと、性に関する正しい知識と意識の育成に力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

●母子生活支援施設：職員

障害者支援施設
川内自興園

「コミュニティ講座」開催

川内自興園では、「地域における公益的な取組」の一環として、地域の皆様方とのつながりを大切にしたイベントを開催しています。

今年度は第1回目として、7月24日に「夏休みふれあい陶芸教室」を開催し、当園は13世帯28名のご家族に参加いただきました。陶器づくりは初めての方が多かった



ですが、陶芸教室の有馬先生のご指導のもと、オリジナルの作品作りに夢中になりました。1ヶ月後に、素敵な作品となってお渡しすることができました。夏休みの思い出として、いつまでも心に残ることでしょう。

第2回目は8月26日に、「夏休みハーバリウム教室」を開催し、10世帯29名のご家族に参加いただきました。ほとんどの方がハーバリウムは初めての体験でしたが、たくさんの花材やアクセサリーを選び、和気あいあいとした雰囲気で、オリジナルの瓶やペンを作られていました。最後は完成した作品を手に記念撮影。笑顔あふれる一日となりました。

今後も当園では「コミュニティ講座」を開催してまいります。次回はどんな講座を行いますやら…乞うご期待ください!!



●主査支援員：堀之内 満

障害者支援施設
ゆすの里

十五夜のお月見バーガーセレクト

ゆすの里では、利用者の方々が日頃の食事をより楽しんでいただけるように毎月イベント食や行事食を取り入れています。

10月に実施した行事食では、10月6日の十五夜に合わせて、月見バーガーを企画しました。近年、秋になると様々なファストフード店の宣伝広告で月見バーガーを見かけるようになりました。ゆすの里でもこの季節感を



●栄養士：内野 聰子

取り入れたメニューを提供できたら利用者の方々に少しでも外食気分を味わって楽しんでいただけるのではないかと思い、厨房委託業者と協力し準備を進めました。今回は「お月見バーガーセレクト」と題して、月見照り焼きチキンバーガーと月見エビカツバーガーの2種類からお好きな方を選んでいただきました。集計の結果は、ほぼ同数に分かれるほど好評でした。

当日、利用者の方々はいつもより早めに食堂へ来られ、笑顔いっぱいに月見バーガーを頬張りながら「ボリューム満点!」「ハンバーガーを食べられて嬉しい」といった喜びの声を多くいただきました。

これからも利用者の方々に寄り添いながら、季節を感じられる楽しい食事のひと時をお届けしていきたいです。

地域子育て支援拠点事業
南部親子つどいの広場

秋のコンサート

南部親子つどいの広場(たにっこりん)では、毎月様々なイベントや講座を実施しています。

今回は、芸術の秋ということで、10月18日に「秋のコンサート」を開催いたしました。シンガーソングライターのyumicaさんをお招きして、40分間のコンサートを実施し、たくさんの方にご参加いただきました。yumicaさんの



透き通る素敵な歌声と、ギターの音色に会場は大盛り上がり。

子ども達にじみのある童謡等を中心に、一緒に身体を動かしたり、歌ったりしながら、親子で楽しむことができるプログラムとなっていました。「子どもの喜ぶ歌が多く、親子で楽しむことができた。」等の声を参加された方から頂きました。中にはyumicaさんのオリジナル曲とご自身の経験にまつわる

お話しに感動して、涙を流す参加者の方もいらっしゃいました。笑いあり、涙ありのとても素敵なコンサートとなりました。

南部親子つどいの広場では、地域における子育て支援拠点として、利用者の皆様が安心して子どもと過ごせる環境作りに努めて



●主査支援員：平原 侑佳

ふくしのおしごと紹介

当事業団では、各施設で様々な職種の職員が働いています。
今回は、看護師兼児童指導員と理学療法士兼支援員の一日に密着してみました!

看護師兼児童指導員

●児童養護施設 仁風学園：藤井 ひろみ



仁風学園で初めての看護師として入職しました。精神科病院で34年勤務し、児童養護施設では新人です。

「人との繋がり、感謝の気持ちを忘れない」が、日々大事にしていることです。児童養護施設の看護師は医療職でありながら、「生活支援者」としての役割も担っています。病気やケガでの相談だけではなく、児童や職員がいつでも相談が出来る「看護師の窓口作り」をしていきたいと思っています。

理学療法士兼支援員

●障害者支援施設 ゆすの里：山下 洋史



利用者の方々の基本的な動作能力の回復や維持、障害の悪化を予防することはもちろんですが、精神的なサポートもできるように、利用者の方々からのお話を傾聴することを心掛けています。リハビリテーションを提供することで利用者の方々のできることが増えたり、会話や笑顔が増えたりすることにやりがいを感じています。これからも利用者の方々に寄り添い、たくさんの笑顔が生まれるよう日々の業務に一生懸命取り組んでまいります。

■仕事内容

- 発熱や怪我等の初期対応と医療機関への受診相談
- 医療機関への通院同行 ○服薬管理と体調確認
- 感染症対策 ○性教育の取り組み

一日のタイムスケジュール(早出勤務)

- 6:30 出勤／宿直者からの引き継ぎ、中高校生への起床の声掛け、お弁当づくり
- 7:00 検温、朝食、登校支援
- 8:00 清掃、洗濯
- 9:00 通園バスへの見送り
- 9:30 朝の連絡会
日誌の記録と書類作成
- 12:00 昼食、休憩
- 14:00 遅出または宿直者への引き継ぎ
- 15:30 退勤



■仕事内容

- 身体機能の評価
- 運動療法
- 物理療法
- リハビリテーション計画書の作成
- 日常生活動作の支援
- 福祉用具・装具・車椅子等の選定や作成・修理の申請

一日のタイムスケジュール

- 8:30 出勤
- 8:35 朝礼
- 9:00~11:45 リハビリテーション業務・清掃
- 12:00 休憩
- 13:00~15:30 リハビリテーション業務・清掃
- 16:00 日誌入力・支援業務
- 17:00 連絡会
- 17:30 退勤



シリーズ Person ひと



同胞保育園
保育士



江篠平凜花

①自己紹介をお願いします。

今年度より同胞保育園で勤務をしています、江篠平凜花です。鹿児島国際大学の児童学科を卒業し、保育士資格・幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭一種免許状・司書教諭資格を取得しました。小学生の頃から、保育士になることが夢で、事業団に入職し、その夢を叶えることができ嬉しく感じています。

②現在の仕事内容について教えてください。

保育士として、0歳児クラスの担任をしています。月齢に合わせて、日々の保育を進めたり、調乳の係でミルクを作ったり離乳食や完了食の配膳を行ったりしています。学生の頃の保育実習では、あまり経験することができなかた0歳児クラスで、学ぶことばかりですが、先輩職員や同期に支えていただきながら業務に励んでいます。子ども達の笑顔や成長を近くで見守ることができ、やりがいを感じています。

③休日はどのように過ごしていますか？

休日は、録画をしているドラマを見たり、ネットflixで映画を見たりと家でゆっくり過ごすことが多いです。スイーツが好きなので、友人とカフェ巡りをしたり、好きなアイドルのライブに行くために鹿児島県外へ行ったりすることもあります。今後、運動会や生活発表

会等、好きなアイドルの曲を使用できたらいいなと考えています。

④事業団で働いて半年経つて…

半年で、運動会や生活発表会など大きな行事も経験することができました。生活発表会では係も経験し、大変なこともありましたが、達成感も味わうことができました。0歳児クラスの担任で、子ども達の月齢の差に戸惑うこともありますが、子ども達がどのようなものに興味を持ち、楽しんでくれるのかを考えながら日々の保育に取り組んでいます。今後も、子ども達に寄り添って、安心して楽しく保育園で過ごすことができるよう保育を行っていきたいと思います。

⑤今後の目標について教えてください。

今後は、月齢に合わせながら遊びの幅を増やしていくらと考えています。0歳児クラスでは、できることも限られている中ですが、先輩職員からアドバイスを頂きながら、リトミックや運動遊び等に挑戦していきたいです。また、手作りの保育材料を活用して、子ども達が興味を持てるような活動を取り入れていけたらと思います。現在は、2歳以上の子ども達と関わる機会が少ないですが、積極的にコミュニケーションを図り、これからも保育に活かせるようにしたいです。

お忙しい中、インタビューにご協力ください、ありがとうございました。
【インタビュー】同胞保育園 看護師 福崎 聖子

1日の勤務の流れ(遅出業務)

- 9:15 出勤／子どもの受け入れ、オムツ交換
- 9:30 朝の会／おやつ
- 9:45 保育活動(製作、戸外遊びなど)
- 10:45 離乳食支援
- 11:00 完了食支援
- 11:30 着替え
- 12:00 ミルク、午睡寝かしつけ
連絡ノート記入、日誌記入、連絡会
- 14:30 体温計測、オムツ交換
- 14:45 おやつ支援
- 15:30 帰りの会
- 15:45 自由遊び／子どもの受け渡し(保護者対応)
- 18:00 清掃
- 18:15 退勤



仁風学園 クローバー農園(一時保護専用ホームの畑)について

一時保護中の子ども達の中には学校に通うことが難しい子どもや偏食・好き嫌いにより野菜を食べられない子どももいます。そこで、食育(食事の大切さ、どのように植物が実っているのか)について理解をしてもらうこと、また土を弄る楽しさ・自然の中に入って遊ぶ楽しさを感じもらうことを目的に、旧園舎の花壇を再利用し、栽培に詳しい学園職員にアドバイスを貰いながら野菜や花を育てています。

畑には、雑草が高く伸びていましたが、刈り取る所から子ども達が楽しく手伝いをしてくれました。また、夏野菜の様子の観察を毎日楽しんでおり、大切に育てた野菜に愛情を持っています。時には、野生動物にスイカを食べられたり、台風でトマトが飛ばされたりすることもあり、泣いてしまう子どももいましたが、心の成長に繋がったと感じます。また、野菜づくりを通して、野菜嫌いを克服することができた子どももおり、命の大切さに気付くきっかけになったのではないかと感じています。

育てた野菜は、トマト、スイカ、オクラ、かぼちゃ等10種類以上です。川内自興園から購入した花(百日草、向日葵等)も植えています。ナスのお好み焼き、オクラやキュウリ、トマトの漬物、かぼちゃのポタージュ、ナスの味噌汁・天ぷら・大学芋風に調理して美味しく頂きました。



児童指導員：神山 由梨